

親といるとしんどい
親に頼れない若者をどう支えるか

住居(住まい)から考える ニート・ひきこもり 支援

2026年2月21日(土)
13:30 - 16:00

会場

ウインクあいち1003号室
(愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4番38号)

JR名古屋駅桜通口から：ミッドランドスクエア方面に徒歩5分
ユニモール地下街5番出口から：徒歩2分
JR新幹線口から：徒歩9分

入場無料
申し込み不要

トーク内容

家から離れるにあたって現代の若者に
どんな困難があるのか

共同生活やシェルターなど、
居住支援のさまざまなかたち

居住や共同生活、地域とのかかわりをきっかけに、
若者が社会とつながれる多様な可能性とは

家から離れる支援は
なぜ必要なのか

登壇者プロフィール



川北稔氏

愛知教育大学准教授。

ひきこもりをはじめとする社会的孤立について調査・研究を行う。

著書に『社会的孤立の支援と制度 - ひきこもりの20年から多元的
包摂へ-』(2025年、青弓社)など。

岡部茜氏

大谷大学社会学部講師。滋賀県立精神保健福祉センターひきこもり支援センター非常勤
職員(2013~2021)などを経て、現在に至る。

著書に『若者支援とソーシャルワーク』(2019年、法律文化社)など。

山田孝介氏

特定非営利活動法人オレンジの会代表理事。

20歳ごろから活動を開始する。ひきこもり家族会の運営を中心に社会的孤立状態に置
かれた方々をサポートする。現在は「8050問題」などの長期化したひきこもりの方へ
のサポートに力を入れている。

翌2月22日は大阪豊中市、
(豊中文化芸術センター)でも
川北先生をお招きし
同趣旨の催しを開催いたします。
※詳細はオンラインで情報ご確認ください。

お問い合わせ：info@weaktie.org NPO 法人ウィークタイ



本催しは、2025年度の福祉医療機構による助成事業(WAM助成)として実施します。

主催：特定非営利活動法人ウィークタイ

後援/協力：川北研究室・特定非営利活動法人オレンジの会